

インタビュー(3)

・結婚、出産に関する質問

——式までの期間、仕事にどんな影響がありましたか？

まず、式をしてないんです。でも引っ越しをしまして。それまでお互い一人暮らしでしたから、そのままでは狭いなと。子供ができたら一人暮らし用の部屋では狭いですし、引っ越しをしようと。引っ越しするのが仕事に一番影響があったし面倒でした。

子供ができて、何ヶ月か先には出産をするのに、加えて引っ越し資金も、となって、それが金銭的な面で大変でした。

——役所の書類関係で大変だった事とか、意外だった事はありますか？

役所への書類はそんなに気にならなかったですね。それよりも目の前の出産と引っ越しが大変で。

ただ、役所からの出産金が当時で30万くらい出て、出産費用もそのくらいかかるので、それでまかないました。

——出産金というのは？

練馬に住んでたんですけど、一時金みたいなお祝い金が出てて、それで入院費を相殺した感じでした。

——お祝い金というのは、練馬でのみ行われていたものですか？

他の地域でも多分やってると思います。金額は違うと思いますが、当時はそのくらい出てて……もしかしたら今はもっと出てるかもしれません。

——それは、出産してから申請するものでした？

そう、出産してからでした。銀行振込だったか……忘れちゃいましたけど。妊娠が分かったら役所で母子手帳とかも貰うんで、その時に申請の時期とか詳しいことを職員さんに聞くといいと思います。

・ 育児に関する質問

———お子さんは保育園へは預けました？

はい、預けました。仕事に復帰しないといけませんでしたから。ただ、運がよかったんですけど、割と近くに0歳から預かってくれるところがあって、7ヶ月から預かってくれるところに預けることができて、それで産後7ヶ月で仕事も復帰できて。タイミングよく一歳未満から預けられました。収入の実績とか書類の提出が必要でしたけど。今だと待機児童とかニューコースになってますけど、当時は運良くすぐに入れて。

ただ、うちが預けたところは保育園料が高かったんです。収入によって保育園料が変わってたと思います。収入高い人はその分取めないといけなかったはずです。

———他の方で会社員か自営業かで点数が変わってくるので、会社員じゃないアニメーターは点数的に不利になる、と仰っている方もいました。その辺りはどうでしょう？

点数……どうだったかなあ、私の場合25年とか前なので今とはシステムが違ってたのかもしれない。そういうのがあったかもしれないけど、役所は特に教えてはくれませんでしたね。

手続きとしては、「役所に申し込む→空きが見つかったら入る」というシステムでした。そこは自宅から自転車で5分とかの保育園だったので、時間になったら迎えに行く感じで。

———他の方のお話しでは、延長料金が結構するので遅れられないと。

当時は延長料金は無かったですが、遅れたらメッチャ怒られました。「職員帰らなきゃいけないんですから！」って。

延長は私の後の世代だと思います。その辺の融通がきくようになったんだと思います。

———では保育園は無事に入れたし、金額も働いている中で何とかなる感じで……

そうですね。まあ、働いてた方がいろいろ足しになりますし。あと、個人的には離乳食とかで助かりました。

———あ、なるほど。ちょうど離乳食に切り替える時期で、保育園の保育士さんがやってくれて。

そうですね(笑)「あれ？知らない間にこんな食べられるようになってる？」って驚かされ

たりして。離乳食に慣れさせるのを、保育園がやってくれて助かりましたね。

——**離乳食**っていうのは何ヶ月くらいから始めるんでしょう？

どうだったかなあ、やっぱり半年くらいから……ゆるいお粥とか、裏漉ししたものを一口くらいからあげ始めて。徐々に慣らしていく感じで。

とにかく保育園でラクしました(笑)

——**7ヶ月**くらいから**あずけ**始めると**楽**であると。

でしたね。あと、同世代のお母さんと送り迎えで知り合えるので、公園デビューとか無くてもママ友の輪ができて。公園デビューとかで変に緊張するような事態にもならず情報交換できる友達ができただのは良かったです。

——**ご自宅**で育てているお母さんは**公園デビュー**もあるけれど、**保育園**に預けていると**違うコミュニケーション**の場があると。

公園のお母さんたちの縄張りがあるみたいで、私は幸いそういう事には遭遇しなかったんですけど、集団が出来上がってる所に途中から入るのもいろいろ大変だったのは聞いて。中にはイジの悪い人もいたので公園デビューはむづかしそうだなと。でも保育園のお母さんはみんな働いてるので、「働いてる者同士の仲間意識」みたいなのがあって。……ちっちゃい子を預けるのにはやっぱり罪悪感みたいなのがあって、でも「みんなそうやって働いて生活してるよね」というふうにお互い励ます感じで。送り迎えの時とかに仲良くなって、情報交換もしやすくって当時は助かりました。今でもたまに飲みに行ったりします。「うちの子もう結婚したのよ」とか話になったり。

——**では保育園関係では特に大きな難関は無かった**感じですね。

そうですね。最初の保育園が0歳から3歳まで預かる場所だったので、他のお母さんたちとそれ以降はどうするって話になったんです。でも、働いてて継続して収入がある人は3歳から小学校までのところにそのまま入れるって聞いて。うちもそのまま小学校入るまで預かってもらえました。しかも知り合いお友達同志がそのまま。ですから保育園では苦労はしなかったですね。

——**それは仕事を続けていたのが大きかった？**

はい、仕事を続けていたのは良かったです。働いてる分、市とか区とかも税金に結びつくからでしょう、働いてる人が助かるようなシステムになってるんだなって思いました。

——あ、なるほど。市としては税金のためにも優遇した方がいいと。

そうみたいですね。

直前まで仕事してて「収入あります」ってアピールしたのが良かったんだと思います。

——もし育児に専念して仕事は抑えめにしたら状況は変わってたかもしれない……

当時うっすらとしか覚えてないんですけど「片手間な働き方じゃないですよ？」と役所で聞かれた記憶があって。その時はたしか「バリバリ働きます」って答えた気がします(笑)

——なるほど、「仕事の量が減ります」と言うと「ならば、その時間でご自分で赤ちゃんの面倒みれますね、保育園入らなくても大丈夫ですね」と判断されてたかもしれない。

そうですね。

——シビアですね。

当時はフリースタジオだったんですけど、これ「自宅作業です」って答えたら預かってもらえなかったかもしれませんね。「フリースタジオにいて、そこで仕事してます」って答えた記憶があります。

——役所からすると、今は変わってきているかもしれませんが、当時は特に「自宅で出来る仕事なら子供も見れるよね」という感覚は強かったかもしれませんね。

はい、そっちに話がいかないように会話していた気がします。昔すぎてよく覚えてないですが(笑)

——他の方も「会社に入って働いてる」という証明書を会社から出してもらって役所に提出した、と仰っていました。

その辺ですよ。あと問題は「預けたらすぐ仕事に入れるか」ですよ。普通は保育園に預けて初めて、面接などの「仕事を探す行動」に移れるじゃないですか。子供抱えて面接はいけませんし、仕事場にもいけませんし。でもアニメーターは電話一本でわりとすぐ仕事を

取れるし、産後でも復帰したらどんどん仕事もくるし。

——フットワークは一般企業の社員よりは軽いかもしれません。

私からみてアニメーターは一般の女性よりも仕事に復帰するのは難しくないと感じます。あと、子供って熱とか流行の病気と判断されると保育園からすぐに家に帰されるんですよ。そうなったら、普通だったら親は面倒見るために会社を休まないといけないじゃないですか。でもアニメーターなら自宅に仕事持ち込んで熱の様子見ながら仕事できるなって。仕事を自宅に持ち帰るっていうのは、他の業種だと難しいだろうなって思います。うちの場合、熱の様子見ながら、寝付いたら仕事を再開する感じで。

——「子供が家に帰される」というのは、そんなに多いのですか？

インフルエンザはもちろん、おたふく風邪とか三日はしかとか、伝染する病気は分かった途端に帰されて、「治るまで何日かお休みしてください」ってなります。

あと、子供は大人と違ってすぐ高熱が出るんです。8度とか9度とか。不意の発熱はありますね。風邪ではないんですけど寝てたら下がって「なんだったんだろ」ってのが。で、熱があるのに本人元気に走り回ったり。

——それは(笑) やっかいですね。

やっかいなんです(笑) 本人は熱があるだけなので元気で遊んで、だけど吐いちゃったりして。

——高熱だと風邪かどうかはお医者さんに診断してもらうまで分かりませんから、保育園としては帰宅させるんですね。不意の発熱は何歳くらいまであります？3歳から6歳までも同じように不安定でしょうか？

3歳くらいまでの方が不安定ですね。

3歳から小学校上がるくらいまでは体力もついてきて。予防注射もやっていくんで免疫もついてきて、安定してきてラクにはなります。でも今度は始終チョロチョロ動き回ります。そして土日は保育園休みなんで、今度は遊ばせなきゃいけないっていう課題が出てきますね。

——アニメーターとしては土日仕事だけど、保育園はお休みだから……

あと小学校に上がると夏休みが意外としんどいですね。子供が一日中家にいますから。私の

場合は、実家が地方なんですけど、おばあちゃんが「孫の面倒みたい」っていうので預けて、遊んでもらって、こっちは自宅で仕事して。都内よりは自然もあるし、相手も子育て経験者なんで子供には手慣れてるし、安心してみてもらえるし、可愛い孫でジジババ孝行もできるしで。低学年の頃はそんな感じでした。

——夏休みといえばご実家、という。

そうですね。でも、年齢が上がってくると友達と遊ぶようになるんで手はかからなくなりますね。あと、小児喘息持ってたんで、小学二年生くらいから空手を習わせたんです。それで合宿があったりとか週二三回通うとかで体力発散させたりとか。その間は仕事できるし。

——習い事というと月謝がかかりますね。

でも、空手の月謝はあんまり高くなかったですね。あと学童保育っていうのもあるので。だいたい学校って二時三時に終わっちゃうじゃないですか。でもお母さんがたの仕事は五時くらいまでであるから預かってもらって。子供たちみんな学校敷地内で過ごすみたいなの。

——長い放課後のクラブ活動みたいな。

そうですね。宿題したり、校庭で遊んだり。

——学童保育というのは名称は聞いたことがありますが、そういう感じなんですね。確かに、親御さんのいないおうちに子供だけ一人、というのも危ない場合がありますし、仕事が終わる時間まで学校にいれば安心できますね。

学童保育は夏休みにもあるんですよ。うちは実家に預けてたんで使ってないんですけど。夏休みの学童保育はプールとかもあるんで、そうやって遊びを覚えていって、親の手を離れていくので成長するにつれてラクにはなりますね。

——夏休みの学童保育は朝からですか？

うちは使ってなかったんで詳しくはないんですが、当時に聞いた話だと朝からみたいです。お弁当持って、学童保育の小屋っていうか建物があって、そこでお弁当食べて、宿題やったり遊んだりしてたようです。ただそれも定員はあるみたいで、働いてるお母さんも沢山いるんで希望者も多いみたいなんですけど。

———小学校の学童保育はお金がかかるんでしょうか？

夏休みの学童保育に料金がかかったかどうかは、うちは実家に預けてたんでやってないんで分からないですね。

———今も学童保育ってあるんでしょうか？

んーあると思いますよ。ただ私もだいぶ昔なんで自信ないですけど。……昔の話で役に立たないかもしれませんね。

———いえいえ、学童保育っていう予備知識があると、これからお子さんを小学校に入れる親御さんの選択肢が増えて役に立つと思います。

まあ、でも、そんなに心配したり不安にならなくても何とかなると思いますよ。子供はいろいろありますけど、計画立てすぎたり情報仕入れすぎたりすると怖くて何もできなくなっちゃうかもしれませんし、「何とかなる」くらいでも大丈夫だと思いますよ(笑)

———なるほど(笑)

子供の環境から知ること多くて、うちの子が行ってたのは耳が聞こえないお子さんも入れる保育園だったんですけど、普通に補聴器つけてる子と一緒に過ごしていて、だからかうちの子は今でも差別とかはしない印象です。私の子供の頃は無かった環境ですね。

———確かに、私の小学校でも身体にハンディキャップがある生徒は専用の学級に属していて、一緒にのクラスにはなっていませんでした。

私の子供の頃では考えられなかったんですけど、うちの子が保育園卒園して小学校に上がったら、今度は中国や韓国のお子さんやハーフのお子さんとかがクラスに普通にいて、自分の頃とはずいぶん違うんだなって感じました。

———私も、確かに海外の人はいなかったですね……まあ山口県の田舎でしたけど(笑)

私も地元は地方で田舎ですね(笑) うちの子は東京だからってのもあると思いますけど、クラスにそういう世界の子が普通にいるので、多分私よりもいろんな人に対する抵抗がないと思います。それは羨ましいなって思います。

——我々の世代とは違う感じがあるかもしれませんね。中学に入っていきなり英語だとかまえちゃいますけど、クラスにいたら「あ、あの子が喋ってた言葉だ」ってなって抵抗少ないかもしれませんね。

そうですね、ある意味羨ましいです。

そうやって、子供から学ぶことも多いですね。

——いろんな情報がお子さんから伝わってきますね。他に何かお子さんから伝わってきた事柄ってありますか？

うーん、なんだろう？伝わってくる情報って日常の事だから有り過ぎて、話すとなると「どれだろう？」ってなりますね(笑)

——あ、なるほど。例えば友達の親御さんのお仕事の事とかは、伝わってきます？

そうですね。友達の親御さんの仕事はいろいろ職種があるみたいで、子ども経由で聞くことは多かったです。あとネグレスト受けてるお子さんもいるんだってのは伝わってきました。

——ネグレスト、ですか。

はい。「親から無視されてる子供」ですけど。……なんだか知らないんですけどうちの子、そういう子達に頼られるところがあるみたいで、友達になることがままあったりして、そういうのもあって聞こえてくるんですけど。

——こう言うのはアレですけど、あなたのお子さんだ、という感じがします(笑)

あはははは(笑)

まあ、世の中にはいろんな親がいるんだ、っていうのは子供を通して知りましたね……

——そうですね……

・育児以降の子育て

——さて、今回は結婚から出産・育児がメインなので、ほぼ質問にはお答えいただい

りまして。でもせっかくなので少し範囲を広げた質問をしたいと思います。

はい。

——では、小学校から高校まで学費面での大変さがありましたか？

中学校までは公立なので問題ないんですけど、高校が問題で。……勉強しなかったんですようちの子(笑)

——あら。

興味を持てば集中するんですけど、そうでないとしらないで。ですから行ける高校がなくて。いろいろ探して、とりあえず入れる私立があつて。家からすごく遠いんですけど。

——はい。

そこに受かったのはいいんですけど、私立なんで入学金が高くて、すぐに入学金入れないといけなくて。ちょうど住むところも引っ越したばかりでお金が出ていったところで。更に学校まで距離があつたので交通費もかかつて。

その学校、イベントも多かつたんですよ。箱根合宿とか、冬はスキー教室とか。……さすがに行かせられなかつたんですけど「ロサンゼルスに行って奉仕活動」とかあつて。子供は行きたいって言うてたんですけど、2週間とか行つてるイベントで20万円以上かかるとなると……無理でしたね。そういうイベントとかあつたんで卒業するまでは金銭的に大変でしたね。

あと、同時期に旦那が大病を患って入院したのもあつて。もしかしたら学校やめないといけないかも、って子供には伝えて。その時期は大変でしたね。結果的に旦那は無事でしたし子供も学校やめることなく卒業出来ましたけど。

——ああ、あの頃ですか……。大変だったと聞いております。その間、お一人で家計を切り盛りすることに？

そうなんんですけど……余談なんですけど、ちょうどその頃、旦那の散歩の為に飼い始めた犬に噛まれて、指を怪我しまして。

——え、誰がですか？

私です。これ、この指なんですけど、利き腕で指の先ちょが無くなってしまっ。「あたし、これ仕事できないんじゃないかな」って。

——ええ…

ただ、こうやって(怪我した指を使わずに)鉛筆持ったら仕事できるじゃん、とか。

——いや、なんだか、たくますぎるんですけど……

もう、考えてたら何もできないなって。それどころじゃないというか、やるしかないって気持ちでいけば、なんでもいけるんじゃないかなって思ってた。

——そうですが、しかし……

だって、生きるためにはそうしないといけないですから。

——確かに。入院された頃ですから、旦那さんは仕事できませんものね。

それが、同情してくれたんですかね、旦那が仕事してた会社が拘束料を少し払ってくれたんですよ。だから、後でちゃんと仕事で返しますんで、って。

——他の方で、つわりの最中も会社側の気遣いで助かったから、これからも仕事で返したい、という方もいらっしゃいました。

困った時に助けてくれると、そういう風にしてもらおうと、治ってからもその仕事を優先してしまいますよね。

——ちゃんとしているところは、不慮の事故などで今までと違う状況になったとしても快復を待ってくれる、という傾向にあるようですね。あと、お子さんがいるスタッフが多い会社では、それを前提に仕事の進め方を考えているようです。

そうですね。あとアニメーターの方もいい加減な仕事してたら、何かあった時に助けてくれないだろうなって思います。ちゃんとしたものあげたりスケジュール守ったり。そういう事があるからこちらが困ってるのも助けてくれるのかなって。

——双方の信頼ですね。

ただ、今はデスクさん以上でないと難しいですね。制作さんすぐに変わっちゃうから、そういう関係は築きにくいかもしれませんね。

あとは妊娠とか育児の最中は家の中で仕事ができる机を用意しないと難しいですね。あ、でも今は薄いのがあるから便利ですね。

——昔はでっかいライトボックスでしたからね。今はほとんどシートみたいな。

ほんといいなあって思います。もっとアレが自分の頃にあれば！と思います(笑)
当時はデカイのを食卓のテーブルに置いてやってて。当時にあのシートみたいなのがあればって。今はデジタルの人もいて、WACOM のとかでもできちゃいますからね。

——今は動画機やライトボックスを買わなくても出来ますね。

育児とかで悩んでる人って結構いるんですか？

——インタビュー受けて下さった方々のお話を聞くと、それぞれに苦労した事があって、独身者では知り得なかった事がいろいろありました。ネットで伝わってくる話だと、地方のアニメーターは特に周りに相談できる同業者が少ないようです。そういう方は目に見える範囲で判断するしかないようで、そんな風に困っている方はいるんじゃないかなと思います。

ああ、今は地方で仕事しているアニメーター増えてますものね。宅配便とか便利ですから。

——地方や実家だと周囲から「結婚したのに仕事してるのは何故？」という風に見られたり言われたりでプレッシャーもあるみたいで。ただ、地方まで出かけて行ってインタビューするのも難しいので、都内の人からまず話を聞くことが出来ればと。

・妊娠、育児の事あれこれ

——あと、こういう情報を男性スタッフや制作さんが知識として持っていれば、いろいろ変わるんじゃないかなと。私も知らなかった事が多かったですから。つわりも、においや音で気持ち悪くなる場合もあれば、特定の色を見ただけで気持ち悪くなる場合もあったり。あと、電話で話をしてダメというケースも。

は——、つわりってそういうのもあるんですね。

——つわりはどうでした？

私もありましたね。ただ、私は妊娠の前半から中期の3~4ヶ月間に、つわりを抑える注射を打ってもらってました。

——そういう注射があるんですね。

まあ、打っても吐きたくはなるんですけどね(笑)

——その辺はほんと男性は知らない事ですね。

男性に妊娠の感覚を説明するのはねえ……お腹の中に異星人がいるような感じ、でしょうか。ずっと常に胃もたれしているような。胃が狭くなるような。……つわりって拒否反応なんですよね、異物がいるわけですから。自分とは違う生き物がいるわけですから。

——変な例えですが、エイリアンみたいな。

そうそう、最初のエイリアンみたいな(笑)

——それは、つらい……

まあ、それをお腹で10ヶ月抱えるわけですから。

——ただ重いだけでは無くて……つわりの頃にはもう動いてるのがわかる感じでしょうか？

いえ、動きがわかるのは5~6ヶ月頃からでしょうか。

——あ、そうか、つわりの頃ってまだお腹も大きくなってませんものね。……他に妊娠中の思い出ってありますか？

お腹大きくなると足の爪が切れないですね。前屈できないから足先が見えなくて。8ヶ月とかになるともう見えないですね。横から覗いてパチパチ切る、みたいな。お腹が大きいと足元も見えないから階段は怖いですね。旦那さんがその辺を知ってくれば違うと思います。……旦那さんの理解がどのくらいあるかで奥さんの気持ちが楽になるかが変わってくると思いますね。

——旦那さんはどうでした？

うちの旦那も結構気を使ってくれたんですよ。わざと自宅で仕事したりして、子供見てくれたりとか。そういう、ちょっとした気づかいは大事だなんて思います。

———そういえば確か、産まれてしばらくして赤ちゃんを仕事場に連れてこられた記憶があります。とても可愛がっている様子だったと記憶しています。知り合いも「あいつがあんなにメロメロになるとか想像してなかった(笑)」と言っていました。

はははは(笑)

———だいたいお聞きしたい事は済みましたが、何か他にあった事はありますか？

そういえば、産まれて半年くらい経ってから、助産師さんのケアがありました。一回だけなんですけど、お子さんがどういった状態か見に来てくれる、っていうのがあって。その時に赤ちゃんのケアの仕方とか教えてくれて。

———助産師さんというのは、産まれる時に赤ちゃんをとりあげた方で？

いえ、ケアの人は区から派遣された方で、半年とかで訪問するのが決まってるみたいで、事前に電話があって日時を決めて来て頂いて。私が勉強になったのは、赤ちゃんもマッサージすると喜ぶっていうので、マッサージの仕方を見せてもらって。……他の自治体だとわからないですけど、うちの自治体だとそういうのがありましたね。

———それは細やかなケアですね。産まれてすぐだとそれどころではないでしょうから、少し経ってから落ち着いた頃に訪問するのかもしれませんがね。

私も産まれてからいろいろ知ったんですけど、今って子供も少ないし役所のいろんなケアがあるんで、あんまり気負ってガンバンなくても大丈夫なんじゃないかなって思います。

———私も今回のインタビューで行政のいろんなケアがあることを知って意外に思いました。

ニュースとかみてたらそのうち学校無料になるんじゃないかって。そうになったら超助かりますね。特にうちは大学行きたいって言ってたんですけど、学費高いし無理だなあ、ってなったもので……。そのへんが変わってくると、行かせることもできたかもなあって思います

ね。

——金銭的な部分は大きいですね。

大きいですね。

旦那も、サクサク仕事すればいいんですけど、締め切り近くなると手をつけませんから。……聞いたんですよ、なんですぐに取り掛からないの？って。そしたら「いや……考えてるんだ……」って(笑)

——なるほど(笑)でも分かります。上がりはもう完璧なものですから、なかなか非難しにくいです(笑)

うちの例って普通過ぎると思んですけど、役に立ちます？

——普通と云うには、結構大変だったと思いますが……とても参考になります。大変な場合だけでなく出産などがスムーズにいったご家庭のお話はこれから出産される方も安心できると思います。大変一辺倒になると「いったい何が起こるんだろう?!」と不安になり過ぎると思いますし。本来、結婚や出産ってやってみるまで分からないことですが、有史以来と言わなくてもアニメ業界だけでも先人の例は多くありますから、いろんな人のケースを聞いて、自分に近い環境の人が見つければ、指針に出来るんじゃないかなって。知らないがゆえに「何が起こるか分からない暗闇」と感じてしまったら不幸ですし、かといって開けてみたら魑魅魍魎過ぎるというわけでもないです。分からないまま、知らないまま不安に過ごすより良いかなって思います。

そうですね。ネットでは不安を煽る情報が多いですけど、うちみたいに意外と実際はそんなことないですからね。

——本日はありがとうございました。